

よろしくお願いたします。9/17 コンセプト ふれあい歯科五島診療室にて  
参加者：五島先生、清水さん、飯塚さん、田中

【前回の振り返り】

- ・一般的な箸とは太さを変えてみよう⇒支える部分を確保する。
- ・ガラスペンを参考に、“引っ掛かり”があると安定しそう。
- ・実際にあるものを使ってみよう
- ・試作品を持参してみよう

【今回の活動内容】

・実際にある道具を試してみる：カムリエさん開発の“デコわんパク”で検証(装着タイプ)  
⇒箸の開閉動作の安定性が向上。一度位置を決めれば、ずれることもない。ストレスの軽減にもつながる。…ただ、食事の度に着脱に手間が掛かるかも。支点の表面積が欲しい。

・箸そのものではなく、装着タイプが扱いやすく、またコスト面でもメリットがあるのではないか。

拇趾丘の支えを作る→上からはめるキャップタイプは？

ボール状のもの⇒スーパーボールをはめてみる 18～30 mmぐらいの範囲  
球体であれば可動しやすい支点の効果も見込める。

まずは次回、カッター持参 スーパーボールや球体模型を加工しよう  
東急ハンズと南長崎のおもちゃやさんで材料調達。

次回開催 10/15(火) 20:00～ ふれあい歯科ごとうにて